

景況実感調査(2016年11月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 高炉メーカーの原料コスト増による大幅値上げ表明から、二次三次特約店筋より思惑買いが活発になった印象で、市況も唱え・実効価格ともに上昇している。ただし、ユーザー等、末端需要での盛り上がりはまだ見られず。仮需になることも懸念される。これまで低調であった建機分野の回復計画もあり、自動車生産も好調なことから、年明け後の需要の盛り上がりを期待したい。
- ② 稼働日数は前月同様20日となり、売上、数量共に大差なし。価格は完全に値上げに向けて動かざるを得ず、12月に入りタイト感が出て来ている品種もあることから、実需の漸増傾向にともなって、上げ足も確かなものになるだろう。
- ③ 薄板三品在庫は適正圏内を維持し、メーカーが追加値上げを発表したことで先高感が強まってきた。流通各社は在庫量を絞っていたこともあり、需給タイト感が出始め、価格上昇も少しずつ浸透しつつある。今後は、材料の確保に苦戦するであろう。
- ④ 店売りで多少仮需的動きがあった。ただし、実需はとぼしく、メーカー起因での動きであり、仕入れが上がってもユーザー向けには転嫁できない状況だ。各社、在庫を多少積んだ後は、また荷動きは止まるかもしれないと予想される。
- ⑤ 材料値上げの転稼が必要。

中板

- ① ユーザーへの値上げに苦慮している。

厚板

- ① 11月も、鋼板、切板の引合いが少なく厳しい環境である。団地にもトラックが少なく感じる。

—舟安开衫金岡

- ① 値上げの上意下達があるも、売上は9月をピークとして10月、11月と微減のトレンド。自主努力で何とか月次決算を繕えるレベルではあるものの、年末年始の営業日数減少月を控えて心理的な負担あり。オリンピック需要なるものに早く出会いたいものだ。
- ② 全体的に売上が下降している。来年の前半も現場の話は薄い。

工形鋼

- ① 11月の倉出しは減少した。歯抜けサイズがあり、失注するケースが増えた。メーカーの値上げや、物件も増えているので早急に価格転嫁をする。
- ② ネットの上げにより、市況も上がってきている。ただし、ネットの上げ幅が大きくて市況が追いついていない状況だ。これからは上げのスピードを速める必要がある。

異形棒鋼

- ① 11月初めよりのスクラップ値上げからメーカーは5円/Kg上げを発表。明細をメーカーにつなげる動きが出る。庫出しも2円/kg以上の上げを実行。単価はもう一段上がる。
- ② 原料コストの上昇、高炉製品の値上げもあって、丸棒価格は底入れ、上昇基調となった。この環境を大事にして在庫販売を中心に、しっかり収益を確保していきたい。

平鋼

- ① 荷動きは10月に落ち込んだが、11月には元に戻った。しかし、忙しくなったという感覚はない。メーカーが連続値上げを匂わす発言をしているが、仮需も入っておらず、メーカーと流通に温度差がある。急激な価格上昇により、価格転嫁が急務。

車量形鋼

- ① 店売りは相変わらず低調で推移しているが、メーカーから値上げされた品物が入荷し始めているので、一刻も早く価格転嫁をしなければいけない状況である。
- ② 工期遅れがまだあるのか、予定の出荷量とならず、先行き不透明。
- ③ まだ長いトンネルの出口が見えない状態。人の準備を行ってきたが、数量がともなわず、11月末付で派遣社員1名の契約を解除した。

鋼管

- ① 電縫管の値上げ唱えにより、市況は下げ止まった。今後、値上げが本格化すると思われる。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は堅調な動きとなっており、1～3月期も同様な動きが続く見通しである。建設機械関連は、中国、東南アジア向け等で多少上向いており、今後緩やかに回復していくものと思われる。店売りの荷動きは変化なく、横這いの状況が続いている。原料炭等の値上がりで高炉メーカーは値上げを実施、さらに電炉メーカーもスクラップ高により値上げを実施しており、年明け以降、価格転せざるを得ない状況となっている。

鋼材全般

- ① 原料高と今後の需要増を背景に、鋼材全般が値上がり基調。流通はメーカー値上げ分の転嫁を急ぐ展開となる。
- ② 10月と比べると5%増の稼働率。昨年11月と比べると10%以上良い。収益面では同じ。来月は25日で仕事が一段落するので、前半が勝負。メーカー値上げに先手先手で対応したい。

その他

<スクラップ>

- ① 11月はスクラップ単価が急騰した。短納期での相場の大きな変動はとても苦しいので、しばらく安定してほしい。

<金属表面処理加工>

- ① 11月は当初予定扱い量から10%増となった。物件物、紐付きは予定通りで、スポット扱いが活発な動きであった。引合い、成約とも順調にきており、12月、1月ともに高操業状態がしばらく続きそうである。各種原料高騰による塗料(溶剤)を含め、購入品の値上がりが懸念される状況下、先納期の新規引合いに対する見積りは慎重を要す。